

ゆめだより

第11号

「鬼は外！！ 福は内！！」

松風園の玄関風景です。入居者が丹精込めて育てている「金のなる木」「君子蘭」、生花クラブ、花の創作クラブの作品等いつもお花でいっぱいです。



2月は節分。法被姿の年女、年男の皆さまが無病息災を願って、園長の掛け声とともに正面玄関、入居者玄関、集会室、各棟、食堂等で威勢よく豆まきを行いました。

豆が余ったので、今年の主役以外の入居者にも撒いてもらいました。皆さまうれしそうでした。

平成30年3月発行
発行所 社会福祉法人松本ハイランド
〒390-1242 松本市大字和田 2240-33
Tel 40-3377 Fax 40-3370
<http://yumenosato.info>

豆まきの後は、ケーキと甘納豆でお茶会を楽しみました。

< 松本市立松風園にて >

事業所からこんにちは

ゆめの里朝日宅老所

相撲のパフォーマンスに笑顔がこぼれる

1月12日、「JA松本ハイランド相撲部」の慰問を受け入れました。同部員による土俵入りで新年を祝うとともに、相撲部員との交流も楽しく行われました。



横綱の土俵入りでは「ヨイショ」の掛け声も出て、大いに盛り上がり、実技を伴った相撲の基本動作や稽古の説明では、皆さん感心して聞いていました。利用者には普段から相撲を見ている人も多く、同部のパフォーマンスに笑顔がこぼれていました。相撲の基本動作を応用した相撲エクササイズの指導もあり、見よう見まねで楽しそうに体を動かしました。

松本市河西部西地域包括支援センター

地域ケア会議開催

～お互いさまの地域づくりを目指して～

松本市では、「誰もが、住み慣れた家で、地域で、安心して暮らし続けることができる仕組みづくり」として各地区で地域ケア会議を開催しています。

29年度、河西部西地域包括支援センターでは8月に和田地区、2月に新村地区で地域ケア会議を開催し、3月に梓川地区を予定しています。

新村地区の地域ケア会議では、民生児童委員・各町会長・介護保険事業所・行政職員・包括職員・松本大学インターン生が集まり、誰もが身近に感じられる事例を通して「自分たちに何ができるのか」をグループワークで話し合いました。

参加者全員がそれぞれの立場から意見を活発に出し合い、また、他の人の意見を聞くことで、新たな考え方や視点に気づくきっかけになったのではないかと思います。

各地区の特性を生かし、「お互いさま」の精神で支え合う地域づくりを目指して、今後も活動していきます。



ゆめの里和田福祉相談センター

J A収穫祭で相談会開催！

J A和田支所収穫祭が平成29年11月同支所前駐車場で開催され、ゆめの里和田福祉相談センターでは、介護相談コーナーを設け介護相談を行いました。

今回は、福祉用具の事業所の協力をいただき、介護職の紹介や靴、杖などの福祉用具の展示を行いました。



ご家族からの相談もあり、お話を伺いながら介護認定の手続きやサービス利用について説明をさせてもらうなど、多くの方に関心を持ってもらうことができました。

今後も地域での活動に参加し、介護相談の要望に応えていきます。

ゆめの里和田訪問看護ステーション

地域交流事業グリーンフケアを開催

かつて訪問させて頂いた利用者様のご家族をお招きし、近況報告や故人の思い出話をしたり、素敵な趣味を披露して下さいました。淋しさの残る中でも前向きにいきいきとした皆さんにお会いでき、スタッフも元気を頂きました。



グリーンフケアとは、「身近な人と死別を経験し、悲嘆にくれる人を支援することで悲しみから立ち直れるようにすること」

特別養護老人ホームゆめの里朝日

小学生と一緒にクリスマス

朝日小学校2年生が12月20日、3年生が12月25日に慰問がありました。クリスマスの時季ということで、一緒にクリスマスの飾りを作って、クリスマスツリーへ飾りました。また、歌や手遊び、劇の発表もありました。



子供たちに肩たたきをしてもらい「気持ちいい」ととても嬉しそうなお表情もみられました。子供たちからパワーをもらい、普段とは違った入居者の表情がみられ、とても楽しい一時となりました。

これからも子供達との交流を続けていき、入居者が楽しみのある生活を送っていただけるように働きかけていきます。

特別養護老人ホームゆめの里和田

書初めで達筆披露

今年のお正月に、入居者の皆様と書初めを行いました。習字がお得意な方、久々に筆を持つ方、それぞれが真剣な表情で筆を運んでいらつしやいました。皆さん達筆で、満足のいく作品が書き上がりました。今年も一年良い年になりそうです。



ゆめの里今井 福祉相談センター

福祉ひろばの催しにて



先日福祉ひろばの催しで、担当利用者様の娘さん、お孫さんが三味線や大正琴の演奏を披露してくれました。

親子三代での参加、かわいいお孫さんの姿をにこやかに見る眼差しが印象的でした。

地域の行事の中でもお孫さんと繋がっていかれる事がとても素敵だと感じる場面でした。

グループホーム
ゆめの里 入山辺

そば会開催

ゆめの里入山辺では地域の皆様との関わりを大切にしています。今回地域のボランティアご協力のもと近所の公民館でそば会を開催しました。

当施設利用者を含め30名以上の皆様にご参加いただきました。なかなか手打ちのそばを食べる機会がないので、いつもは小食のほすの利用者も名人の打つおそばをおかわりしたり、地域の方と談笑して交流を楽しみました。そばの食べ方にはみなさんこだわりがあるようで、個性が光り楽しいひと時を過ごしました。



ゆめの里ヘルパーステーション

冷蔵庫にある物を使って

冷蔵庫の中にあるものを使ってお料理を作るのがヘルパーの腕の見せ所。高齢の方は栄養が偏りがちとなり、低栄養に伴い認知症や転倒、身体機能の低下がみられてきます。私達ヘルパーはご利用者の嗜好を可能な限り尊重し、栄養のバランスのとれた食事を提供することに日々努めています。



色々な食品を組み合わせ、料理法が偏らないよう、加工食品や料理済みの食品、昔から日本になじみのある食材を上手に使う調理をしています。栄養価も高く、よく噛む事ができる食材の頭文字「まごわやさしい」

ま・大豆 こ・ごま わ・わかめ、ひじき や・野菜
さ・魚 し・しいたけ、きのこ類 い・いも類
これらは冷蔵庫の中に常備されていますね

ゆめの里和田デイサービスセンター

クリスマス会で交流

日頃より地域のボランティアの方々に支えられ、利用者の方々や職員もボランティアの訪問を楽しみにしています。

今回のクリスマス会には、日本舞踊・文化琴・フラダンス・ハーモニカの方々にお世話になりました。



発表後は、昔話しや家でのことを話しながらお茶会をしました。お茶会の最後には決まって「また来てね」と次回を楽しみに別れを惜しんでおられました。

今後もボランティアの方々の協力と様々な慰問・発表を通じ地域の方々と共に歩んでいきたいと思えます。

ゆめの里新村宅老所

公民館の講座に講師

宅老所では、季節毎に、いろんな物を手作りしています。今年は、初めてのこんにやく作り挑戦！しました。こんにやく芋をすりつぶすのに苦労しながらも、みんなで力を合わせることが出来ました。結構な力仕事でしたが、出来映えもよく刺身こんにやくで頂くと、「臭みがなく、おいしいね」という声が聞かれていました。



平成29年4月1日から改正社会福祉法が施行され、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務が規定され、すべての社会福祉法人が自律的な経営を進めることとなりました。

一方、介護保険制度は、団塊の世代が75歳の後期高齢者の年齢に達する2025年を見据え、平成30年度には医療保険との同時改定がおこなわれ、地域包括ケアシステムの推進、自立支援の促進、介護人材の確保、サービスの適正化を柱に、事業者に機能訓練の充実や医療との連携を促し、中・重度の要介護者への対応強化が求められています。

また、人材確保については、一般企業でも深刻な問題になってきており、特に福祉分野については非常に厳しい状況で、福祉人材の確保・育成・定着等抜本的な対策が必要になっています。

このような諸情勢を踏まえ、社会福祉法人松本八イランドでは、地域の福祉ニーズへ対応する地域貢献活動を実践し、利用者の自立支援を重点に取り組むとともに、第4次中期計画（平成28～30年度）の最終年度として次の事項を基本に平成30年度の事業をすすめてまいります。

一、地域の福祉ニーズを把握し、地域貢献事業・活動を実施します。

地域の福祉ニーズと生活課題の把握

地域の公益的な取り組み、地域貢献事業の実施

松本市第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画に対応した新たな事業展開

二、利用者の思いのくみ取りと個人の尊厳を守り、サービスの質の向上を図ります。

利用者の思い（声）をくみ取る体制づくり

サービスの評価・改善システムの構築

良質なサービス提供のための研究・職員研修の実施

三、人材の育成・確保と健康で働きがいのある職場づくりをすすめます。

働きがいのある職場づくり
人材確保の推進

心身ともに健康な職場環境の整備

四、改善・改革の経営管理を推進します。

内部管理機能明確化と強化

総合的なリスク管理、コンプライアンスの徹底

情報管理の見直し・整備

財務管理の徹底

五、「JA長野県介護保険事業あり方検討委員会」のJA介護体制の整備に沿って、ジェイエー長野会つづくしの里の事業移管について検討を進めます。

第6回職員大会開催

社会福祉法人松本ハイランド職員としての意識の高揚と仲間の連帯感の醸成を図るとともに、将来に向けて組織の発展と自らの成長を誓つことを目的に、平成29年12月3日J A松本ハイランドグリーンパルにて第6回職員大会が開催され、120名の職員が参加しました。

大会では、永年勤続表彰も行われ、15年勤続10名、10年勤続3名が表彰されました。



その後、研究発表として、

「ゆめの里今井の紹介」

「ゆめの里朝日として進めている地域や他法人との連携について」

「松風園でどんな仕事をしているの？」

「居宅支援事業所って？」

4グループの発表がありました。

また、『デズニニア카데미』『ゲストサ―ビススタイル』に参加し、「ホスピタリティマインド（おもてなしの心）」を学んだ職員より研修報告がありました。



「ゆめの里今井」松本市景観賞を受賞

平成29年4月に松本市今井地区に開所した「ゆめの里今井」が、松本の風土と歴史的環境に調和した景観の形成に貢献したことが認められ、平成29年度松本市景観賞を受賞しました。



《編集後記》

寒い冬が終わり、例年より早い桜の季節がすぐそこまで来ています。30年度は、地域の福祉ニーズへ対応する地域貢献活動を実践していきます。